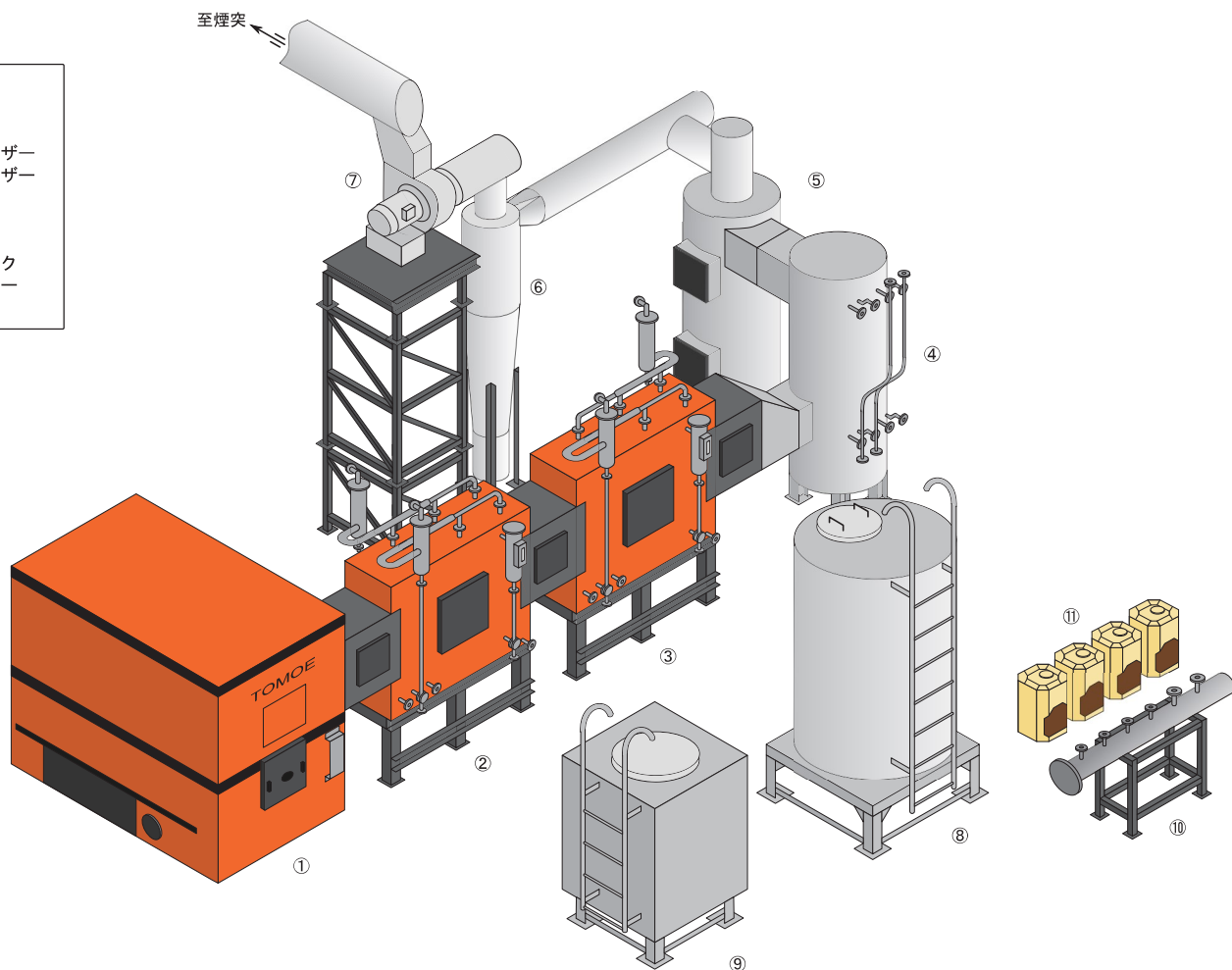


小型貫流木質バイオマス蒸気ボイラ

最高使用圧力 1.0Mpa(常用圧力～ 0.7Mpa) 換算蒸発量 1,200 kg/h

※上記以外の蒸発量でもご相談下さい。

- ① 燃焼炉
- ② 1号貫流ボイラ
- ③ 2号貫流ボイラ
- ④ 1号エコノマイザー
- ⑤ 2号エコノマイザー
- ⑥ サイクロン
- ⑦ 排気ファン
- ⑧ 復水タンク
- ⑨ 冷却水循環タンク
- ⑩ スチームヘッダー
- ⑪ 薬液注入装置



特長

1. 生チップの燃料も使用可能：含水率100% d.b(水分率50% w.b)までのチップの燃焼が可能です。
2. 点火方式：着火は化石燃料を一切使用せず、紙などを用いた手動着火、燃料によっては自動着火方式が可能です。
3. 最適な燃焼状態を保つ制御技術：燃焼温度、排ガス酸素濃度等多くのパラメータを計測し、燃料の送り量、燃焼空気量を緻密に制御し常に最適な燃焼状態で運転を行います。
4. 負荷に応じた連続制御方式：出力は負荷に応じ、定格出力の100%から30%までの間でリニアに制御されます。
5. 小型貫流蒸気ボイラ：ボイラは1つの燃焼炉と蒸気発生部からなり、小型ボイラとして特別な資格や検査は不要です。
6. 逆火防止装置等の安全装置搭載：燃料搬送路に逆火した場合は緊急停止および緊急警報システムが作動し逆火防止装置により逆火防止装置で燃焼炉と燃料貯蔵庫を縁切りします。また消火水を送り逆火を消火します。
7. 自動灰出し装置：自動灰出し装置により燃焼灰はスクリーコンベアにより自動的に灰受けボックスに送られます。

巴ボイラ

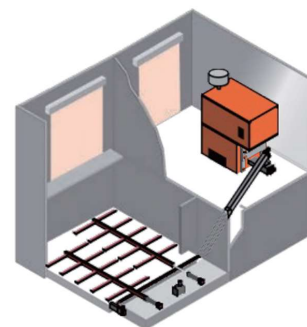
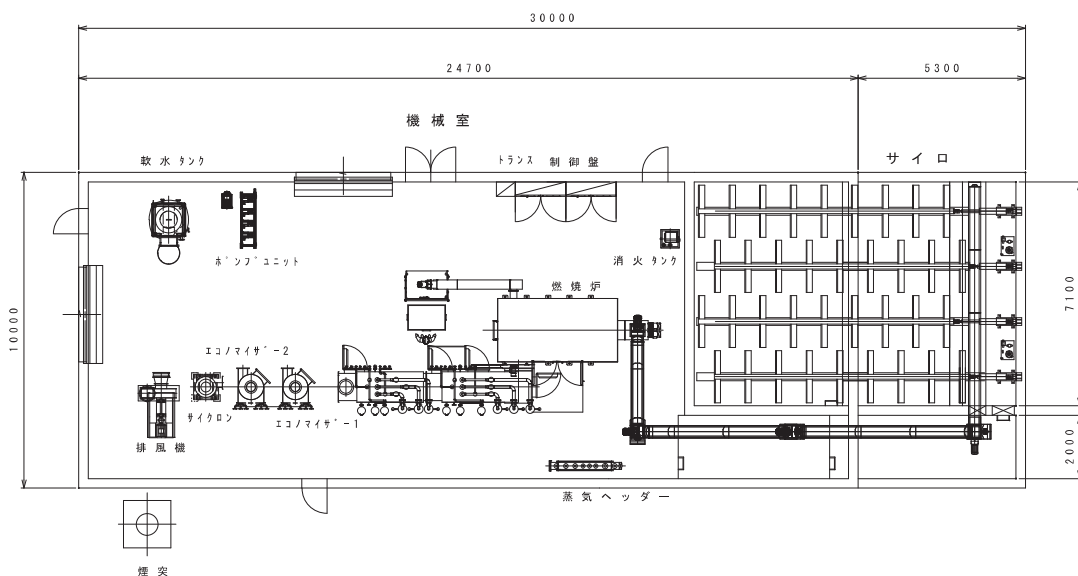
株式会社 巴商会 / 株式会社 トモエテクノ

■換算蒸発量1.2t/h 小型貫流木質バイオマス蒸気ボイラ 概略仕様表(御参考)

ボイラ型式	小型貫流木質バイオマス蒸気ボイラ				
労働安全規則の分類		小型貫流ボイラ	常用蒸気圧力	MPa	~0.7
換算蒸発量	t/h	約1.2	伝熱面積	m ²	9.32×3缶
熱出力(最大)	kW	754	缶水量	lit	276×3缶
定格入力	kW	751	運転質量	kg	4,350
推奨燃料基準値	生チップ 含水率100%(D.B) 低位発熱量1.9kWh/kg(483kWh/m ³)※				
チップ消費量	kg/h	504※	燃焼制御方式	比例制御	
電源	3φ200V 50/60Hz 38A				

※燃料の成分によって異なるため参考値として下さい。

■配置参考図



ムービングフロア方式

非常に堅牢なこのシステムは大きなサイロからのチップ搬送に最適です。

■納入事例

サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場 様

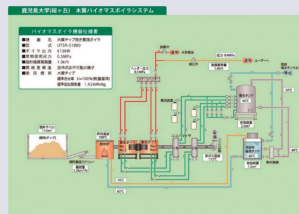
サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場様では同社国内工場で初となるCO₂排出量実質ゼロ工場を実現しており、地産地消のエネルギー活用にも拘っています。そのため、太陽光発電の導入や再エネ由来の電力調達を行うとともにエネルギー供給サービスの一環として弊社の木質バイオマス蒸気ボイラを導入させて頂きました。



換算蒸発量	1.2t/h
用途	製造ライン
燃料	木質チップ
燃焼炉	UTSR-1200.32
設置年月	2022年1月

鹿児島大学病院 様

鹿児島県の国立大学法人鹿児島大学様では、地球温暖化対策実施計画に基づき、CO₂排出量削減及び鹿児島大学の保有する演習林等の豊かな森林資源を活用し、鹿児島大学独自のエコサイクルの実現を目的として、「木質バイオマス蒸気ボイラ」を大学病院様に導入させて頂きました。



換算蒸発量	1t/h
用途	蒸気熱源
燃料	木質チップ
燃焼炉	UTSR-900.32
設置年月	2012年2月

お問い合わせ

巴ボイラ 株式会社 巴商会

〒105-0022 東京都港区海岸2丁目1番16号
TEL.03-6665-8626(代) FAX.03-6665-8577
<https://tomoeshokai.com/>



拠点情報

